

平成26年度 再評価対象事業一覧

再評価対象事業の該当条件

- ① 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ② 事業採択後10年間（廃棄物処理施設整備事業については5年間）を経過した時点で継続中の事業
- ③ 再評価の実施後5年間（下水道事業については10年間）を経過した時点で継続中の事業
- ④ 事業休止している事業の内、事業再開又は事業中止しようとする事業
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価を実施することが必要であると認められる事業

種別	番号	事業名	事業概要	採択年度	該当条件	経過年数	進捗率(%)		備考
							H28.3	再評価時	
道路事業	1	一般国道162号 (川東拡幅)	延長 L=2,150m 幅員 W=7.5~9.0m	H12	③	15	44.9	45.1	
	2	一般国道477号 (大布施拡幅)	延長 L=2,195m 幅員 W=9.0m	H2	③	25	67.3	67.3	
河川事業	3	旧安祥寺川	延長 L=400m 幅員 W=2.7~4.7m	H2	③	25	77.8	54.2	
	4	新 川	延長 L=890m 幅員 W=6m	H7	③	20	74.2	69.3	

京都市街図 平成26年度 再評価対象事業箇所図

1 道路事業
一般国道162号

9 河川事業
旧安祥寺川

8 河川事業
新川

6 道路事業
一般国道477号



左京区

平成26年度再評価事業フォローアップ調書

(平成28年3月末)

事業名		道路事業 一般国道162号（川東拡幅）		事業所管課	建設局道路建設部 道路建設課
事業区間		自：京都市右京区梅ヶ畑川西町 至：京都市右京区梅ヶ畑川東		延長及び幅員	延長L＝ 2, 150 m 幅員W＝ 7. 5～9. 0 m
事業採択年度		平成12年度		完成予定年度	当初：平成29年度 変更：平成40年度
事業進捗				箇所図 	
種別	全体事業	平成27年度末			
工事	L＝ 2,150 m C＝ 6,879 百万円	L＝ 850 m C＝ 2,855 百万円			
用地	A＝ 19,714 m ² C＝ 253 百万円	A＝ 8,940 m ² C＝ 58 百万円			
その他	C＝ 646 百万円	C＝ 579 百万円			
計	C＝ 7,778 百万円	C＝ 3,492 百万円			
進捗率	45.1% ※ 【平成26年度再評価時】		44.9% 【平成28年3月末】		
平成26年度再評価時点での課題、問題点					
・「はばたけ未来へ！ 京プラン」実施計画＜改革編＞における道路整備事業の見直しに基づき、平成27年度までの4年間については、原則、事業進ちょくを見送る路線と位置づけられた。 ・評価委員会において、「未完成の第2工区には、災害防除が必要な区間や見通しの悪い区間が残されている。緊急輸送道路にも指定されている本路線の防災機能の強化と交通安全面の向上を図るため、既に供用を開始している第1工区に引き続き、第2工区の整備も進めていく必要があることから、『事業継続』は妥当である」との意見をいただいた。					
平成27年度取組					
・平成24年度に策定した「道路整備事業の見直し」に基づき、事業進捗を原則、平成27年度までの4年間見送っていた。 ・未買収地の用地確保に向けた地上物件調査及び各種設計基準の改定に伴う道路詳細設計の修正を、工事着手前に実施する必要があるため、事業計画を見直し、完成予定年度を平成36年度から平成40年度に変更した。					
平成28年度以降取組					
当面の目標					
国及び本市の財政状況が厳しく、予算確保が困難な状況であるが、第2工区の未買収地の確保を最優先に進め、事業の進捗を図る。					
事業効果					
・第一次緊急輸送道路として防災機能が強化されるとともに、急カーブ解消により、安全かつ円滑な通行が確保される。 ・京都市中心部と京北地域とのアクセスが向上することで、農林業や観光業の振興に寄与する。					
発現年度					
平成40年度					

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成26年度再評価事業フォローアップ調書

(平成28年3月末)

事業名		道路事業 一般国道477号（大布施拡幅）		事業所管課	建設局道路建設部 道路建設課
事業区間		自：京都市左京区花脊大布施町 至：京都市左京区花脊大布施町		延長及び幅員	延長L＝2，195m 幅員W＝9.0m
事業採択年度		平成2年度		完成予定年度	当初：平成11年度 変更：平成33年度
事業進捗				箇所図	
種別	全体事業		平成27年度末		
工事	L＝2,195 m C＝3,818 百万円	L＝1,585 m C＝2,367 百万円			
用地	A＝24,395 m ² C＝275 百万円	A＝23,182 m ² C＝265 百万円			
その他	C＝437 百万円		C＝417 百万円		
計	C＝4,530 百万円		C＝3,049 百万円		
進捗率	67.3% ※ 【平成26年度再評価時】		67.3% 【平成28年3月末】		
平成26年度再評価時点での課題、問題点					
・「「はばたけ未来へ！ 京プラン」実施計画＜改革編＞における道路整備事業の見直しに基づき、平成27年度までの4年間については、原則、事業進ちょくを見送る路線と位置づけられた。 ・評価委員会において、緊急輸送道路にも指定されている本路線の防災機能の強化と交通安全面の向上を図るため、既に供用を開始している第1工区に引き続き、第2工区の整備も進めていく必要があることから『事業継続』は妥当であるとの意見をいただいた。					
平成27年度の実績					
・継続して用地交渉を実施した。					
平成28年度以降の取組					
当面の目標					
・防災機能の強化と交通安全面の向上を目的として、工事の早期着工を目指す。					
事業効果					
・幅員狭小及び線形不良区間の改良整備を進めることで、国道の防災機能が強化されるとともに、安全で円滑な道路交通が確保される。					
発現年度					
・平成33年度					

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成26年度再評価事業フォローアップ調書

(平成28年3月末)

事業名		河川事業 旧安祥寺川		事業所管課	建設局土木管理部 河川整備課
事業区間		自：京都市山科区御陵久保町 至：京都市山科区御陵荒巻町		延長及び幅員	延長L＝ 400 m 幅員W＝ 2.7～4.7 m
事業採択年度		平成2年度	完成予定年度	当初：平成 9年度 変更：平成30年度	
事業進捗			箇所図		
種別	全体事業	平成27年度末			
工事	L＝ 400 m C＝ 3,497 百万円	L＝ 110 m C＝ 2,605 百万円			
用地	A＝ 2,069 m ² C＝ 294 百万円	A＝ 2,051 m ² C＝ 294 百万円			
その他	C＝ 225 百万円	C＝ 225 百万円			
計	C＝ 4,016 百万円	C＝ 3,124 百万円			
進捗率	54.2 % ※ 【平成26年度再評価時】	77.8 % 【平成28年3月末】			
平成26年度再評価時点での課題、問題点					
・評価委員会において「本河川の流域では、宅地化の進行に伴って雨水流出量が増加しており、集中豪雨等による浸水被害が発生しているため、河川改修」による治水効果を早期に発現させる必要があることから『事業継続』は妥当である」との意見をいただいた。 ・平成27年度からは、引き続き JR 北側の捷水路工事、沈砂池設置工事に着手し、事業効果の早期発現を目指す。					
平成27年度取組					
JR北側の捷水路（ショートカット水路）整備工事（シールド工事）において、シールドマシン及びセグメントの製作に着手した。					
平成28年度以降取組					
当面の目標					
・平成30年度までに捷水路（ショートカット水路）及び沈砂池整備工事を完成させる。					
事業効果					
・旧安祥寺川の氾濫防止により、流域の治水安全度が高まる。					
発現年度					
・平成30年度					

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。

平成26年度再評価事業フォローアップ調書

(平成28年3月末)

事業名		河川事業 新川		事業所管課	建設局土木管理部 河川整備課
事業区間		自：京都市西京区下津林前 ^{まえふけ} 泓町 至：京都市西京区川島 ^{むしろでん} 延田町		延長及び幅員	延長L＝ 8 9 0 m 幅員W＝ 6 m
事業採択年度		平成 7 年度		完成予定年度	当初 平成 2 1 年度 変更 平成 3 0 年度
事業進捗				箇所図	
種別	全体事業	平成 2 7 年度末			
工事	L＝ 890 m C＝ 3,046 百万円	L＝ 609 m C＝ 1,953 百万円			
用地	A＝ 1,108 m ² C＝ 875 百万円	A＝ 1,108 m ² C＝ 875 百万円			
その他	C＝ 360 百万円	C＝ 347 百万円			
計	C＝ 4,281 百万円	C＝ 3,175 百万円			
進捗率	69.3% ※ 【平成26年度再評価時】	74.2% 【平成28年3月末】			
平成 2 6 年度再評価時点での課題，問題点					
・ 評価委員会において「本河川の未改修区間である上流部では，浸水被害の防除をより一層推進するため，下水道雨水幹線の整備も進められており，平成 2 8 年度の接続に向け，本河川の改修を確実に進めていく必要があることから『事業継続』は妥当である。」との意見をいただいた。					
・ 水掛橋上流において，本市上下水道局が進める事業のうち下水道雨水幹線新川 6 号幹線と連携して事業進捗を図ることで，更なる流域の浸水防除を推進する。					
平成 2 7 年度の実組					
・ 阪急桂南住宅北側の護岸工事を継続して実施した。					
平成 2 8 年度以降の実組					
当面の目標					
流域内の治水安全度のさらなる向上を目的として，平成 2 8 年度中に雨水幹線接続箇所となる水掛橋上流までの護岸改修の完成を目指す。					
事業効果					
本事業に併せて整備が予定されている雨水幹線と接続させることにより，流域全体の治水安全度が向上する。					
発現年度					
平成 3 0 年度					

※再評価を実施した年度当初の事業進捗率を示す。